

発注企業動向調査結果

-2025.6-

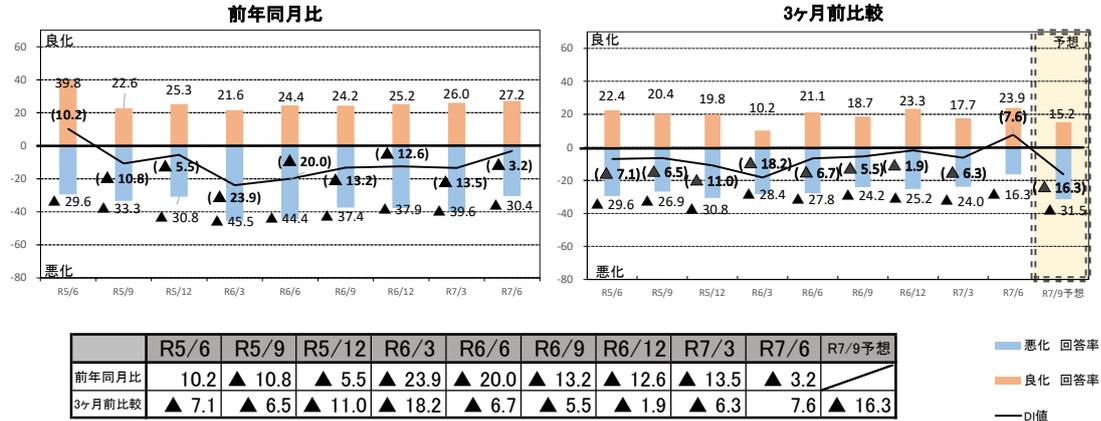
- 調査時点 令和7年6月調査(令和7年6月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 92社(回答率:61.33%)

<業種内訳>

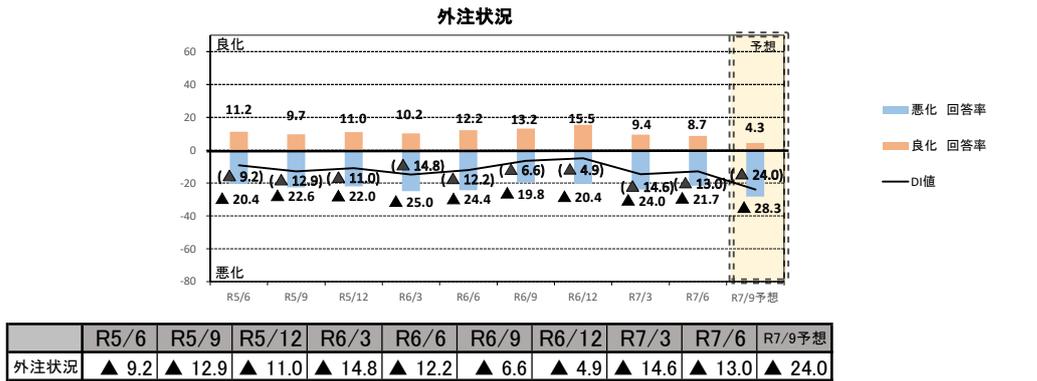
プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	10社
金属製品	8社
一般機械器具	16社
電気機器	24社
輸送用機器	18社
精密機器	3社
縫製	4社
計	92社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲3.2で、前回の▲13.5から10.3ポイント増となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは7.6で、前回の▲6.3から13.9ポイント増となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲13.0で、前回の▲14.6から1.6ポイント増となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲16.3、外注状況が▲24.0という予想になった。
- ・その他自由意見として、

【繊維工業】

- ・物価高により消費者の衣料品購入率が大きく下がり、業界全体も落ち込んでいる。
- ・現在は良いが先が見えない。

【鉄鋼・非鉄金属製造業】

- ・アメリカ関税の影響が出てきそう。

【金属製品製造】

- ・売上は多少増減するが半年間の平均値は変化なしと考えられる。
- ・今後、関税問題が心配である(北米へ親会社経由で輸出有り)。

【電気機械器具】

- ・受注が活発化していますが、今後の動向を注視しています。
- ・関税の影響をはじめ、経済情勢はなお不透明です。県としての柔軟な対応にご尽力いただけますようお願い申し上げます。
- ・①2025年3Q以降は全体的に受注減、②2026年度海外向け案件が激減予想、③車載関係・遊戯関係が2025年3Q以降厳しい状況、④通信関係が全般的に厳しい(特に25年3Q以降)。

- ・特に半導体装置関係の受注が減少。米国の関税問題もあり、不透明感が強い。

【輸送用機械器具】

- ・受注回復基調は感じられますが、今後の動向注視は必要な状況です。
- ・トラック関連の部品塗装は横ばいですが、試験研究設備の仕事が増えている。

という意見が寄せられた。